

特別支援教育関連メールニュース

2026 年 1 月号 (Vol.8, No.2)

日本作業療法士協会 制度対策部 保健福祉課 障害児支援班 (教育領域支援推進チーム)

● 2 回目：「教育領域への作業療法士参画に向けた意見交換会」開催について ＜ 士会員の皆様にご案内ください ＞

【日 時】2026 年 1 月 16 日（金曜） 19：30～21：00 （ZOOM）

【内 容】・情報提供「特別支援教育に関する最近の動向と OT の参画状況について」
（制度対策部副部長 酒井康年）

・「学校を理解して支援ができる作業療法士の育成研修会」基礎編と実践編の
開催手順に関する説明（協会制度対策部保健福祉課）

※グループワークは予定していません。質疑の時間はとらせて頂きます。

【参加対象】日本作業療法士協会員 人数制限はありません（無料）
士会員の皆様にもご案内ください。

【参加登録】申込フォームより登録ください <https://forms.gle/rhwHVXCR8U75CnbY7>

● 第 63 回 日本特殊教育学会でのポスター発表報告

2025年9月13日（土）から15日（月）にかけて、茨城県水戸市の水戸市民会館において開催され、「多様化する学校作業療法士の関与形態の整理」をテーマにポスター発表を行いました。本学会は、障害児教育に関する科学研究の進歩と発展を目的としており、特別支援教育に携わる教員をはじめ、児童福祉領域の専門職など、多職種が参加する学会です。

ポスター発表には多くの来訪者があり、「作業療法士」というキーワードをきっかけに関心を持って足を運んでくださった方が40名以上にのぼり、例年と比べても非常に活発な反応が得られました。来訪者とのディスカッションを通じて、放課後等デイサービスのエリアマネージャーからは「OTの人材確保に課題を感じている。OTの雇用を促進したい。」という声が寄せられ、また通級指導教室の教員からは「OTに研修会講師を依頼したいが、どこに相談すれば良いですか？」といった具体的な相談もありました。他にも多数のやりとりから、各地域において作業療法士への期待やニーズが確実に高まっていることが実感されました。

日本特殊教育学会への参加は、各地域、各校種や職種の関心ごとや困りごとを把握したり、都道府県士会を紹介したりするなど、発表を行うこと以上に草の根的な活動の役割も担っており、本学会で発表する意義の大きさを改めて感じています。



● 第 59 回 日本作業療法学会でのポスター発表報告

2025 年 11 月 7 日（金）から 9 日（日）にかけてあなぶきアリーナ香川において開催された第 59 回日本作業療法学会にて、「学校を理解して支援ができる作業療法士育成への取り組みの成果」をテーマにポスター発表を行いました。8 日 12：30～13：30 の待機時間には、全国各地の OT がポスター前に訪れ、作業療法士として学校に関わりたいがどのように進めていけばよいか、学校との連携の取り方、士会での人材育成方法等に関する質問があり、これまでの教育領域支援チームの活動についての紹介や今後の展望についての情報共有をすることができました。

